

めぐみイエス・キリスト教会

2024年10月20日(日)第三主日礼拝

午前10時より

週報「通算第728号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌170「マジェスティ」	p. 244
【交読文】	No.47 出エジプト記20章	p. 916
【賛美Ⅱ】	新聖歌248「人生の海の嵐に」	p. 382
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【前回説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲「天には救いの喜び」	
【聖書朗読】	ヨハネの福音書14章13節～14節(新約p. 214)	
【礼拝説教】	《神様との緊急電話番号》	
【特別証し】	「中村めぐみさん(日本国際飢餓対策機構)」	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌166「威光・尊厳・栄与」	p. 236
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

※本日の聖書箇所(ヨハネの福音書14章13節～14節)

14:13 「またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもそれをしてあげます。父が子によって栄光をお受けになるためです。

14:14 あなたがたが、わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしがそれをしてあげます。」

●ポイント1. 旧約聖書における神様の約束

※エレミア書33章2節～3節「監視の庭において」(旧約p.1335)

33:2 「地を造った【主】、それを形造って堅く立てた【主】、その名が【主】である方が言われる。

33:3 『わたしを呼べ。そうすれば、わたしはあなたに答え、あなたが知らない理解を超えた大いなることを、あなたに告げよう。』

●ポイント2. 「主イエスの御名」の権威とは？

※エペソ書1章19節～21節「使徒パウロの見解」(新約p.385)

1:19 また、神の大能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知ることができますように。

1:20 この大能の力を神はキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上でご自分の右の座に着かせて、

1:21 すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世だけでなく、次に来る世においても、となえられるすべての名の上に置かれました。

◎先週の礼拝メッセージ【神の約束】

《本日のメッセージは、東京プレーヤーセンター代表の和氣敏治先生にいただきました。ローマ人への手紙のこの箇所には、神様の三つの約束がなされています。一つ目は、「神様との平和を持っている」ということです。

主イエス・キリストの十字架の贖いによって、私たちは、神様に敵対する者から、神様の子どもとされたのです。よって、神様との間に平和が与えられています。また、主イエス様が、「平安があなたがたにあるように。私が与える平安は、世が与えるのとは違います。」と言われたように、私たちには素晴らしい平安(平和)が与えられています。

そして二つ目は、「神の栄光にあずかる望みを喜んでいる」ということです。これは、私たちが、主イエス・キリストと似た者に変えられて行くことを意味しています。日々日々新しくされ、徐々にですが、主の似姿にへと変えられて行くのです。

そして三つ目は、「苦難さえも喜ぶ」ことが出来るということです。詩篇には、『苦難と窮乏が私に襲いかかっています。しかしあなたの仰せは私の喜びです。(詩篇119:143)』と、書かれています。

どうして苦難を喜ぶことが出来るのでしょうか。それは、聖霊様によって成されることです。「なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれている」と、パウロは証しています。

ここで使われています「注がれている」という言葉の原語は、実は、「怒濤のごとく」、すなわち「大量に注がれる」という意味の原語が使われています。少しばかりの量ではないのです。そして、「苦難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出す」と、パウロは続けて述べています。これこそが、主イエス・キリストに似た者とされ、神様の栄光にあずかることなのです。》

◎お知らせ

※本日は、日本国際飢餓対策機構スタッフの中村めぐみさんから、鈴木師の短いメッセージの後、貴重な証しをしていただきます。